

平成 31 年 4 月 11 日

内閣サイバーセキュリティセンター
重要インフラグループマイクロソフト社製及びアドビシステムズ社製ソフトウェアの
更新プログラムについて（注意喚起）

マイクロソフト社製及びアドビシステムズ社製ソフトウェアのセキュリティ更新プログラムが発表されたので、更新の適用を行ってください。

1. マイクロソフト社製ソフトウェア

1. 1 対象ソフトウェア

Internet Explorer、Microsoft Edge 等の複数のソフトウェア。詳細については参考 URL 参照。

対象ソフトウェアには、任意のコードが実行される可能性という脆弱性が存在。

1. 2 対応

対象ソフトウェアにセキュリティ更新プログラムを適用する。月例の更新ではあるが、5 件の緊急の修正が含まれている。

更新方法等については、参考 URL 参照。

参考 URL

- ・ 2019 年 4 月のセキュリティ更新プログラム（月例）（マイクロソフト社）
<https://blogs.technet.microsoft.com/jpsecurity/2019/04/10/201904-security-updates/>
- ・ 2019 年 4 月のセキュリティ更新プログラム（マイクロソフト社）
<https://portal.msrc.microsoft.com/ja-jp/security-guidance/releasenotedetail/18306ed5-1019-e911-a98b-000d3a33a34d>
- ・ Microsoft 製品の脆弱性対策について（2019 年 4 月）（IPA）
<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20190410-ms.html>
- ・ 2019 年 4 月マイクロソフトセキュリティ更新プログラムに関する注意喚起（JPCERT/CC）
<https://www.jpCERT.or.jp/at/2019/at190015.html>

2. アドビシステムズ社製ソフトウェア (Adobe Acrobat 及び Reader)

2. 1 対象ソフトウェア

- ・ Adobe Acrobat Reader DC Continuous (2019.010.20098) 及びそれ以前 (Windows, macOS)
- ・ Adobe Acrobat Reader 2017 Classic 2017 (2017.011.30127) 及びそれ以前 (Windows, macOS)
- ・ Adobe Acrobat Reader DC Classic 2015 (2015.006.30482) 及びそれ以前 (Windows, macOS)
- ・ Adobe Acrobat DC Continuous (2019.010.20098) 及びそれ以前 (Windows, macOS)
- ・ Adobe Acrobat 2017 Classic 2017 (2017.011.30127) 及びそれ以前 (Windows, macOS)
- ・ Adobe Acrobat DC Classic 2015 (2015.006.30482) 及びそれ以前 (Windows, macOS)

上記ソフトウェアには、任意のコードが実行される可能性という脆弱性が存在。

2. 2 対応

対象ソフトウェアを、最新のバージョンに更新する。

更新方法等については、参考 URL 参照。

参考 URL

- ・ Security updates available for Adobe Acrobat and Reader | APSB19-17 (アドビシステムズ社)
<https://helpx.adobe.com/security/products/acrobat/apsb19-17.html>
- ・ Adobe Acrobat および Reader の脆弱性対策について (APSB19-17) (CVE-2019-7111 等) (IPA)
<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20190410-adobereader.html>
- ・ Adobe Acrobat および Reader の脆弱性 (APSB19-17) に関する注意喚起 (JPCERT/CC)
<https://www.jpcert.or.jp/at/2019/at190013.html>

3. アドビシステムズ社製ソフトウェア (Adobe Flash Player)

3. 1 対象ソフトウェア

- ・ Adobe Flash Player Desktop Runtime (32.0.0.156) 及びそれ以前 (Windows, macOS, Linux)
- ・ Adobe Flash Player for Google Chrome (32.0.0.156) 及びそれ以前 (Windows, macOS, Linux, Chrome OS)
- ・ Adobe Flash Player for Microsoft Edge and Internet Explorer 11 (32.0.0.156) 及びそれ以前 (Windows 10, Windows 8.1)

上記ソフトウェアには、任意のコードが実行される可能性という脆弱性が存在。

3. 2 対応

対象ソフトウェアを、最新のバージョンに更新する。

更新方法等については、参考 URL 参照。

参考 URL

- ・ Updates available for Adobe Flash Player | APSB19-19 (アドビシステムズ社)
<https://helpx.adobe.com/security/products/flash-player/apsb19-19.html>
- ・ Adobe Flash Player の脆弱性対策について (APSB19-19) (CVE-2019-7096 等) (IPA)
<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20190410-adobeflashplayer.html>
- ・ Adobe Flash Player の脆弱性 (APSB19-19) に関する注意喚起 (JPCERT/CC)
<https://www.jpcert.or.jp/at/2019/at190014.html>